

# 不等式の証明クイズ

1  $x > 1, y > 1$  のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。  
 $xy + 1 > x + y$

解答 略

解説

$$(xy+1)-(x+y)=xy-x-y+1=x(y-1)-(y-1)=(x-1)(y-1)$$

$x > 1, y > 1$  より、 $x-1 > 0, y-1 > 0$  であるから  
 $(x-1)(y-1) > 0$

よって  $xy + 1 > x + y$

2  $a > b, c > d$  のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。  
 $ac + bd > ad + bc$

解答 略

解説

$$(ac+bd)-(ad+bc)=ac-ad-bc+bd=a(c-d)-b(c-d)=(a-b)(c-d)$$

$a > b, c > d$  より、 $a-b > 0, c-d > 0$  であるから  $(a-b)(c-d) > 0$

よって  $ac+bd > ad+bc$

3 不等式  $a^2 + b^2 \geq 2ab$  を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

解答 証明略、等号が成り立つのは  $a=b$  のとき

解説

$$(a^2+b^2)-2ab=(a-b)^2\geq 0 \quad \text{ゆえに } a^2+b^2 \geq 2ab$$

等号が成り立つのは、 $a-b=0$  すなわち  $a=b$  のときである。

4 不等式  $a^2 - ab + b^2 \geq 0$  を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

解答 証明略、等号が成り立つのは  $a=b=0$  のとき

解説

$$a^2-ab+b^2=\left(a^2-2a\cdot\frac{b}{2}+\left(\frac{b}{2}\right)^2\right)-\left(\frac{b}{2}\right)^2+b^2=\left(a-\frac{b}{2}\right)^2+\frac{3}{4}b^2$$

ここで  $\left(a-\frac{b}{2}\right)^2 \geq 0, \frac{3}{4}b^2 \geq 0$  であるから  $\left(a-\frac{b}{2}\right)^2+\frac{3}{4}b^2 \geq 0$

ゆえに  $a^2-ab+b^2 \geq 0$

等号が成り立つのは  $a-\frac{b}{2}=0$  かつ  $b=0$

すなわち、 $a=b=0$  のときである。

5 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

(1)  $a^2 + ab + b^2 \geq 0$

(2)  $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$

解答 証明略

- (1) 等号が成り立つのは  $a=b=0$  のとき  
(2) 等号が成り立つのは  $ay=bx$  のとき

解説

$$(1) a^2+ab+b^2=\left(a^2+2a\cdot\frac{b}{2}+\left(\frac{b}{2}\right)^2\right)-\left(\frac{b}{2}\right)^2+b^2=\left(a+\frac{b}{2}\right)^2+\frac{3}{4}b^2$$

ここで  $\left(a+\frac{b}{2}\right)^2 \geq 0, \frac{3}{4}b^2 \geq 0$  であるから  $\left(a+\frac{b}{2}\right)^2+\frac{3}{4}b^2 \geq 0$   
ゆえに  $a^2+ab+b^2 \geq 0$

等号が成り立つのは、 $a+\frac{b}{2}=0$  かつ  $b=0$ 、すなわち  $a=b=0$  のときである。

$$(2) (a^2+b^2)(x^2+y^2)-(ax+by)^2=(a^2x^2+a^2y^2+b^2x^2+b^2y^2)-(a^2x^2+2abxy+b^2y^2)=a^2y^2-2abxy+b^2x^2=(ay-bx)^2 \geq 0$$

ゆえに  $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$   
等号が成り立つのは、 $ay-bx=0$  すなわち  $ay=bx$  のときである。

6 不等式  $a^2+b^2+c^2 \geq ab+bc+ca$  を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

解答 証明略、等号が成り立つのは  $a=b=c$  のとき

解説

$$a^2+b^2+c^2-(ab+bc+ca)=\frac{1}{2}(a^2-2ab+b^2+b^2-2bc+c^2+c^2-2ca+a^2)=\frac{1}{2}[(a-b)^2+(b-c)^2+(c-a)^2] \geq 0$$

ゆえに  $a^2+b^2+c^2 \geq ab+bc+ca$

等号が成り立つのは

$$a-b=0 \text{ かつ } b-c=0 \text{ かつ } c-a=0$$

すなわち、 $a=b=c$  のときである。

7 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

$$a^2+b^2 \geq 2(a+b-1)$$

解答 証明略、等号が成り立つのは  $a=b=1$  のとき

解説

$$a^2+b^2-2(a+b-1)=(a^2-2a+1)+(b^2-2b+1)=(a-1)^2+(b-1)^2 \geq 0$$

ゆえに  $a^2+b^2 \geq 2(a+b-1)$

等号が成り立つのは、 $a-1=0$  かつ  $b-1=0$ 、すなわち  $a=b=1$  のときである。

8  $a > 0, b > 0$  のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{a+b}$$

解答 略

解説

両辺の平方の差を考えると

$$(\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 - (\sqrt{a+b})^2 = (a+2\sqrt{ab}+b) - (a+b) = 2\sqrt{ab} > 0$$

よって  $(\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 > (\sqrt{a+b})^2$

$\sqrt{a} + \sqrt{b} > 0, \sqrt{a+b} > 0$  であるから

$$\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{a+b}$$

9  $a > 0, b > 0$  のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$3\sqrt{a} + 2\sqrt{b} > \sqrt{9a+4b}$$

解答 略

解説

両辺の平方の差を考えると

$$(3\sqrt{a} + 2\sqrt{b})^2 - (\sqrt{9a+4b})^2 = (9a+12\sqrt{ab}+4b) - (9a+4b) = 12\sqrt{ab} > 0$$

よって  $(3\sqrt{a} + 2\sqrt{b})^2 > (\sqrt{9a+4b})^2$

$3\sqrt{a} + 2\sqrt{b} > 0, \sqrt{9a+4b} > 0$  であるから  $3\sqrt{a} + 2\sqrt{b} > \sqrt{9a+4b}$

10 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。  
 $|a+b| \leq |a| + |b|$

解答 証明略、等号が成り立つのは  $ab \geq 0$  のとき

解説

両辺の平方の差を考えると

$$(|a|+|b|)^2 - |a+b|^2 = (|a|^2 + 2|a||b| + |b|^2) - (a^2 + 2ab + b^2) = 2(|ab| - ab) \geq 0$$

よって  $|a+b|^2 \leq (|a|+|b|)^2$

$|a+b| \geq 0, |a|+|b| \geq 0$  であるから

$$|a+b| \leq |a|+|b|$$

等号が成り立つのは、 $|ab|=ab$  すなわち  $ab \geq 0$  のときである。

11 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。  
 $|a-b| \leq |a| + |b|$

解答 証明略、等号が成り立つのは  $ab \leq 0$  のとき

解説

両辺の平方の差を考えると

$$(|a|+|b|)^2 - |a-b|^2 = (|a|^2 + 2|a||b| + |b|^2) - (a^2 - 2ab + b^2) = (a^2 + 2|ab| + b^2) - (a^2 - 2ab + b^2) = 2(|ab| + ab) \geq 0$$

よって  $|a-b|^2 \leq (|a|+|b|)^2$

$|a-b| \geq 0, |a|+|b| \geq 0$  であるから  $|a-b| \leq |a|+|b|$

等号が成り立つのは、 $|ab|=-ab$  すなわち  $ab \leq 0$  のときである。

別解  $|a+b| \leq |a|+|b|$  であるから

$$|a-b|=|a+(-b)| \leq |a|+|-b|$$

ここで、 $|-b|=|b|$  であるから  $|a-b| \leq |a|+|b|$

等号が成り立つのは、 $a(-b)=-ab \geq 0$  すなわち  $ab \leq 0$  のときである。

12  $x > 0$  のとき、不等式  $x + \frac{1}{x} \geq 2$  が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

解答 証明略、等号が成り立つのは  $x=1$  のとき

解説

$x > 0, \frac{1}{x} > 0$  であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$x + \frac{1}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{1}{x}} \quad \text{よって } x + \frac{1}{x} \geq 2$$

等号が成り立つのは、 $x > 0$  かつ  $x = \frac{1}{x}$ 、すなわち  $x=1$  のときである。

13  $a > 0, b > 0$  のとき、不等式  $(a+b)\left(\frac{1}{a} + \frac{1}{b}\right) \geq 4$  が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

**解答** 証明略、等号が成り立つのは  $a=b$  のとき

**解説**

$$(a+b)\left(\frac{1}{a}+\frac{1}{b}\right)=2+\frac{b}{a}+\frac{a}{b}$$

$\frac{b}{a}>0, \frac{a}{b}>0$  であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$\frac{b}{a}+\frac{a}{b}\geq 2\sqrt{\frac{b}{a}\cdot\frac{a}{b}}=2$$

$$\text{よって } (a+b)\left(\frac{1}{a}+\frac{1}{b}\right)\geq 2+2=4$$

等号が成り立つのは、 $a>0, b>0$ かつ $\frac{b}{a}=\frac{a}{b}$ 、すなわち $a=b$ のときである。

$$\text{別解 } (a+b)\left(\frac{1}{a}+\frac{1}{b}\right)-4=\frac{(a+b)^2}{ab}-4=\frac{(a+b)^2-4ab}{ab}=\frac{(a-b)^2}{ab}\geq 0$$

$$\text{よって } (a+b)\left(\frac{1}{a}+\frac{1}{b}\right)\geq 4$$

等号が成り立つのは $a=b$ のときである。

**[14]** 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

ただし、 $a, b, c, d$ は正の数とする。

$$(1) 2a+\frac{3}{a}\geq 2\sqrt{6}$$

$$(2) \left(\frac{b}{a}+\frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b}+\frac{c}{d}\right)\geq 4$$

**解答** 証明略

(1) 等号が成り立つのは $a=\frac{\sqrt{6}}{2}$ のとき

(2) 等号が成り立つのは $ad=bc$ のとき

**解説**

(1)  $2a>0, \frac{3}{a}>0$ であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$2a+\frac{3}{a}\geq 2\sqrt{2a\cdot\frac{3}{a}}$$

$$\text{ゆえに } 2a+\frac{3}{a}\geq 2\sqrt{6}$$

等号が成り立つのは、 $a>0$ かつ $2a=\frac{3}{a}$ 、すなわち $a=\sqrt{\frac{3}{2}}=\frac{\sqrt{6}}{2}$ のときである。

$$(2) \left(\frac{b}{a}+\frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b}+\frac{c}{d}\right)=2+\frac{bc}{ad}+\frac{ad}{bc}$$

$\frac{bc}{ad}>0, \frac{ad}{bc}>0$ であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$\frac{bc}{ad}+\frac{ad}{bc}\geq 2\sqrt{\frac{bc}{ad}\cdot\frac{ad}{bc}}=2$$

$$\text{ゆえに } \left(\frac{b}{a}+\frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b}+\frac{c}{d}\right)\geq 2+2=4$$

等号が成り立つのは、 $a, b, c, d$ が正の数かつ $\frac{bc}{ad}=\frac{ad}{bc}$ 、すなわち $ad=bc$ のとき

である。

**[15]**  $a>0$ のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$\sqrt{1+a}<1+\frac{a}{2}$$

**解答** 略

**解説**

両辺の平方の差を考えると、 $a>0$ から

$$\left(1+\frac{a}{2}\right)^2-(\sqrt{1+a})^2=\left(1+a+\frac{a^2}{4}\right)-(1+a)=\frac{a^2}{4}>0$$

$$\text{よって } \left(1+\frac{a}{2}\right)^2>(\sqrt{1+a})^2$$

$$1+\frac{a}{2}>0, \sqrt{1+a}>0 \text{ であるから } \sqrt{1+a}<1+\frac{a}{2}$$

**[16]** 次の不等式を証明せよ。

$$(1) |a|-|b|\leq|a-b|$$

$$(2) |a|-|b|\leq|a+b|$$

**解答** (1) 略 (2) 略

**解説**

(1) [1]  $|a|-|b|\geq 0$ のとき

両辺の平方の差を考えると

$$\begin{aligned} |a-b|^2-(|a|-|b|)^2 &= (a-b)^2-(|a|^2-2|a||b|+|b|^2) \\ &= (a^2-2ab+b^2)-(a^2-2|ab|+b^2) \\ &= 2(|ab|-ab)\geq 0 \end{aligned}$$

$$\text{よって } |a-b|^2\geq(|a|-|b|)^2$$

$$|a|-|b|\geq 0, |a-b|\geq 0 \text{ であるから}$$

$$|a|-|b|\leq|a-b|$$

[2]  $|a|-|b|<0$ のとき、 $|a-b|\geq 0$ であるから  $|a|-|b|<|a-b|$

[1], [2]から  $|a|-|b|\leq|a-b|$

等号が成り立つのは、 $|a|\geq|b|$ かつ $|ab|=ab$ すなわち $a\geq b\geq 0$ または $a\leq b\leq 0$ のときである。

(2) [1]  $|a|-|b|\geq 0$ のとき

両辺の平方の差を考えると

$$\begin{aligned} |a+b|^2-(|a|-|b|)^2 &= (a+b)^2-(|a|^2-2|a||b|+|b|^2) \\ &= (a^2+2ab+b^2)-(a^2-2|ab|+b^2) \\ &= 2(|ab|+ab)\geq 0 \end{aligned}$$

$$\text{よって } |a+b|^2\geq(|a|-|b|)^2$$

$$|a|-|b|\geq 0, |a+b|\geq 0 \text{ であるから}$$

$$|a|-|b|\leq|a+b|$$

[2]  $|a|-|b|<0$ のとき、 $|a+b|\geq 0$ であるから  $|a|-|b|<|a+b|$

[1], [2]から  $|a|-|b|\leq|a+b|$

等号が成り立つのは、 $|a|\geq|b|$ かつ $|ab|=-ab$ すなわち $a\geq-b\geq 0$ または $a\leq-b\leq 0$ のときである。

**別解** (1)  $|a+b|\leq|a|+|b|$ において、 $a$ を $a-b$ でおき換えると

$$|(a-b)+b|\leq|a-b|+|b|$$

$$\text{すなわち } |a|\leq|a-b|+|b|$$

$$\text{よって } |a|-|b|\leq|a-b|$$

(2)  $|a|-|b|\leq|a-b|$ において、 $b$ を $-b$ でおき換えると

$$|a|-|-b|\leq|a-(-b)|$$

$$\text{よって } |a|-|b|\leq|a+b|$$

**[17]**  $a>0, b>0$ のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$(1) ab+\frac{4}{ab}\geq 4$$

$$(2) \left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right)\geq 9$$

**解答** (1) 略 等号は $ab=2$ のとき成り立つ (2) 略

**解説**

(1)  $a>0, b>0$ から  $ab>0, \frac{4}{ab}>0$

よって、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$ab+\frac{4}{ab}\geq 2\sqrt{ab\cdot\frac{4}{ab}}=4$$

$$\text{ゆえに } ab+\frac{4}{ab}\geq 4$$

等号は $ab=\frac{4}{ab}$ つまり $ab=2$ のときである。

$$(2) \left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right)=ab+\frac{4}{ab}+5$$

よって、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$ab+\frac{4}{ab}\geq 2\sqrt{ab\cdot\frac{4}{ab}}=4$$

ゆえに $ab+\frac{4}{ab}\geq 4$  よって $\left(a+\frac{1}{b}\right)\left(b+\frac{4}{a}\right)\geq 4+5=9$

等号は $ab=\frac{4}{ab}$ つまり $ab=2$ のときである。

**[18]** 正の数 $a, b, c$ に対し、不等式 $a^3+b^3+c^3\geq 3abc$ を示せ。

**解答** 略 等号は $a=b=c$ のとき成り立つ

**解説**

$$\begin{aligned} a^3+b^3+c^3-3abc &= (a+b+c)(a^2+b^2+c^2-ab-bc-ca) \\ &= \frac{1}{2}(a+b+c)[(a-b)^2+(b-c)^2+(c-a)^2]\geq 0 \end{aligned}$$

$a>0$ かつ $b>0$ かつ $c>0$ より $a+b+c>0$

$$\text{よって } \frac{1}{2}(a+b+c)[(a-b)^2+(b-c)^2+(c-a)^2]\geq 0$$

$$\text{ゆえに } a^3+b^3+c^3\geq 3abc$$

等号が成り立つのは、 $a-b=0$ かつ $b-c=0$ かつ $c-a=0$ つまり $a=b=c$ のときである。

**[19]** (1)  $x>1$ のとき、 $3x+1>x+3$ であることを証明せよ。

(2) 不等式 $a^2-2ab+3b^2\geq 0$ を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

**解答** (1) 略 (2) 証明略 等号は $a=b=0$ のとき成り立つ

**解説**

$$(1) (3x+1)-(x+3)=2x-2=2(x-1)$$

$x>1$ のとき $2(x-1)>0$ であるから $(3x+1)-(x+3)>0$

$$\text{よって } 3x+1>x+3$$

$$(2) a^2-2ab+3b^2=(a^2-2ab+b^2)-b^2+3b^2$$

$$=(a-b)^2+2b^2$$

$(a-b)^2\geq 0, 2b^2\geq 0$ であるから $(a-b)^2+2b^2\geq 0$

$$\text{よって } a^2-2ab+3b^2\geq 0$$

等号が成り立つのは、 $a-b=0$ かつ $b=0$ すなわち $a=b=0$ のときである。

**[20]** 次の不等式を証明せよ。また、(3)の等号が成り立つのはどのようなときか。

(1)  $a>1, b>\frac{1}{2}$ のとき  $2ab+1>a+2b$

(2)  $x^2>4x-7$  (3)  $a^2+3b^2\geq 3ab$

**解答** (1) 略 (2) 略 (3) 証明略 等号は $a=b=0$ のとき成り立つ

**解説**

$$(1) (2ab+1)-(a+2b)=2ab+1-a-2b$$

$$=(2b-1)a-(2b-1)$$

$$=(a-1)(2b-1)$$

ここで、 $a>1, b>\frac{1}{2}$ から $a-1>0, 2b-1>0$

$$\text{よって } (a-1)(2b-1) > 0 \quad \text{ゆえに } 2ab+1 > a+2b$$

$$\begin{aligned} (2) \quad x^2 - (4x-7) &= x^2 - 4x + 7 \\ &= (x^2 - 4x + 4) - 4 + 7 \\ &= (x-2)^2 + 3 > 0 \end{aligned}$$

$$\text{よって } x^2 > 4x - 7$$

$$\begin{aligned} (3) \quad (a^2 + 3b^2) - 3ab &= a^2 - 3ab + \left(\frac{3}{2}b\right)^2 - \left(\frac{3}{2}b\right)^2 + 3b^2 \\ &= \left(a - \frac{3}{2}b\right)^2 + \frac{3}{4}b^2 \geq 0 \end{aligned}$$

$$\text{よって } a^2 + 3b^2 \geq 3ab$$

等号が成り立つのは、 $a - \frac{3}{2}b = 0$ かつ $b = 0$ 、すなわち $a = b = 0$ のときである。

21 次の不等式を証明せよ。また、(3)の等号が成り立つのはどのようなときか。

$$(1) \quad a > -2, \quad b > \frac{1}{3} \text{ のとき } 3ab - 2 > a - 6b$$

$$(2) \quad 4x^2 + 3 > 4x \quad (3) \quad 2x^2 \geq 3xy - 2y^2$$

**解答** (1) 略 (2) 略 (3) 証明略 等号は $x=y=0$ のとき成り立つ

**解説**

$$\begin{aligned} (1) \quad 3ab - 2 - (a - 6b) &= 3ab - a + 6b - 2 \\ &= (3b - 1)a + 2(3b - 1) \\ &= (a + 2)(3b - 1) \end{aligned}$$

ここで、 $a > -2$ ,  $b > \frac{1}{3}$ から $a + 2 > 0$ ,  $3b - 1 > 0$

$$\text{よって } (a + 2)(3b - 1) > 0$$

$$\text{ゆえに } 3ab - 2 > a - 6b$$

$$(2) \quad 4x^2 + 3 - 4x = 4x^2 - 4x + 3$$

$$= 4\left(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}\right) + 3$$

$$= 4\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 - 1 + 3$$

$$= 4\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + 2 > 0$$

$$\text{よって } 4x^2 + 3 > 4x$$

$$(3) \quad 2x^2 - (3xy - 2y^2) = 2x^2 - 3yx + 2y^2$$

$$= 2\left(x - \frac{3}{4}y\right)^2 - \frac{9}{8}y^2 + 2y^2$$

$$= 2\left(x - \frac{3}{4}y\right)^2 + \frac{7}{8}y^2 \geq 0$$

$$\text{よって } 2x^2 \geq 3xy - 2y^2$$

等号が成り立つのは、 $x - \frac{3}{4}y = 0$ かつ $y = 0$ すなわち $x = y = 0$ のときである。

22 次の不等式が成り立つことを証明せよ。また、(1)の等号が成り立つのはどのようなときか。

$$(1) \quad a \geq 0, \quad b \geq 0 \text{ のとき } 5\sqrt{a+b} \geq 3\sqrt{a} + 4\sqrt{b}$$

$$(2) \quad a > b > 0 \text{ のとき } \sqrt{a-b} > \sqrt{a} - \sqrt{b}$$

**解答** (1) 証明略 等号は $16a = 9b$ のとき成り立つ (2) 略

**解説**

$$(1) \quad (5\sqrt{a+b})^2 - (3\sqrt{a} + 4\sqrt{b})^2 = 25(a+b) - (9a + 24\sqrt{ab} + 16b)$$

$$= 16a - 24\sqrt{ab} + 9b = (4\sqrt{a} - 3\sqrt{b})^2 \geq 0 \quad \dots \dots \text{①}$$

$$\text{よって } (5\sqrt{a+b})^2 \geq (3\sqrt{a} + 4\sqrt{b})^2$$

$$5\sqrt{a+b} \geq 0, \quad 3\sqrt{a} + 4\sqrt{b} \geq 0 \text{ であるから } 5\sqrt{a+b} \geq 3\sqrt{a} + 4\sqrt{b}$$

等号が成り立つのは、①から $4\sqrt{a} = 3\sqrt{b}$ すなわち $16a = 9b$ のときである。

$$\begin{aligned} (2) \quad (\sqrt{a-b})^2 - (\sqrt{a} - \sqrt{b})^2 &= (a-b) - (a - 2\sqrt{ab} + b) \\ &= 2\sqrt{ab} - 2b = 2\sqrt{b}(\sqrt{a} - \sqrt{b}) \end{aligned}$$

$a > b > 0$ より、 $2\sqrt{b}(\sqrt{a} - \sqrt{b}) > 0$ であるから $(\sqrt{a-b})^2 > (\sqrt{a} - \sqrt{b})^2$

$\sqrt{a-b} > 0$ ,  $\sqrt{a} - \sqrt{b} > 0$ であるから $\sqrt{a-b} > \sqrt{a} - \sqrt{b}$

23  $a \geq 0$ ,  $b \geq 0$ のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

$$(1) \quad \sqrt{a} + 2 \geq \sqrt{a+4}$$

$$(2) \quad \sqrt{2(a+b)} \geq \sqrt{a} + \sqrt{b}$$

**解答** (1) 証明略 等号は $a = 0$ のとき成り立つ

(2) 証明略 等号は $a = b$ のとき成り立つ

**解説**

$$\begin{aligned} (1) \quad (\sqrt{a} + 2)^2 - (\sqrt{a+4})^2 &= (a + 4\sqrt{a} + 4) - (a + 4) \\ &= 4\sqrt{a} \geq 0 \end{aligned}$$

よって $(\sqrt{a} + 2)^2 \geq (\sqrt{a+4})^2$

$\sqrt{a} + 2 > 0$ ,  $\sqrt{a+4} > 0$ であるから

$$\sqrt{a} + 2 \geq \sqrt{a+4}$$

等号が成り立つのは、 $a = 0$ のときである。

$$\begin{aligned} (2) \quad \{\sqrt{2(a+b)}\}^2 - (\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 &= 2(a+b) - (a + 2\sqrt{ab} + b) \\ &= a - 2\sqrt{ab} + b \\ &= (\sqrt{a} - \sqrt{b})^2 \geq 0 \end{aligned}$$

よって $\{\sqrt{2(a+b)}\}^2 \geq (\sqrt{a} + \sqrt{b})^2$

$\sqrt{2(a+b)} \geq 0$ ,  $\sqrt{a} + \sqrt{b} \geq 0$ であるから

$$\sqrt{2(a+b)} \geq \sqrt{a} + \sqrt{b}$$

等号が成り立つのは、 $a = b$ のときである。

24  $x > 0$ のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

$$(1) \quad x + \frac{4}{x} \geq 4$$

$$(2) \quad \left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) \geq 9$$

**解答** (1) 証明略 等号は $x = 2$ のとき成り立つ

(2) 証明略 等号は $x = \sqrt{2}$ のとき成り立つ

**解説**

(1)  $x > 0$ ,  $\frac{4}{x} > 0$ であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$x + \frac{4}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{4}{x}} = 2 \cdot 2 = 4 \quad \text{よって } x + \frac{4}{x} \geq 4$$

等号が成り立つのは $x = \frac{4}{x}$ すなわち $x = 2$ のとき。

$$(2) \quad \left(x + \frac{4}{x}\right) - 4 = \frac{x^2 + 4 - 4x}{x} = \frac{(x-2)^2}{x} \geq 0$$

よって $x + \frac{4}{x} \geq 4$

等号が成り立つのは、 $x = 2$ のとき。

(2) 左辺を展開して

$$\left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) = x^2 + x \cdot \frac{4}{x} + \frac{1}{x} \cdot x + \frac{1}{x} \cdot \frac{4}{x} = x^2 + \frac{4}{x^2} + 5$$

$x^2 > 0$ ,  $\frac{4}{x^2} > 0$ であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$x^2 + \frac{4}{x^2} \geq 2\sqrt{x^2 \cdot \frac{4}{x^2}} = 2 \cdot 2 = 4$$

$$\text{よって } \left(x + \frac{1}{x}\right)\left(x + \frac{4}{x}\right) = x^2 + \frac{4}{x^2} + 5 \geq 4 + 5 = 9$$

等号が成り立つのは $x^2 = \frac{4}{x^2}$ すなわち $x = \sqrt{2}$ のとき。

25  $a$ ,  $b$ ,  $c$ ,  $d$ は正の数とする。次の不等式が成り立つことを証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

$$(1) \quad 4a + \frac{9}{a} \geq 12$$

$$(2) \quad \left(\frac{b}{a} + \frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b} + \frac{c}{d}\right) \geq 4$$

**解答** (1) 証明略 等号は $a = \frac{3}{2}$ のとき成り立つ

(2) 証明略 等号は $ad = bc$ のとき成り立つ

**解説**

(1)  $4a > 0$ ,  $\frac{9}{a} > 0$ であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$4a + \frac{9}{a} \geq 2\sqrt{4a \cdot \frac{9}{a}} = 2 \cdot 6 = 12$$

よって $4a + \frac{9}{a} \geq 12$

等号が成り立つのは、 $4a = \frac{9}{a}$ すなわち $a = \frac{3}{2}$ のとき。

$$\begin{aligned} \text{別解} \quad 4a + \frac{9}{a} - 12 &= \frac{4a^2 - 12a + 9}{a} \\ &= \frac{(2a-3)^2}{a} \end{aligned}$$

$$a > 0, \quad (2a-3)^2 \geq 0 \text{ より } \frac{(2a-3)^2}{a} \geq 0$$

よって $4a + \frac{9}{a} \geq 12$

等号が成り立つのは、 $2a-3=0$ すなわち $a = \frac{3}{2}$ のとき。

(2) 左辺を展開して

$$\begin{aligned} \left(\frac{b}{a} + \frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b} + \frac{c}{d}\right) &= \frac{b}{a} \cdot \frac{a}{b} + \frac{b}{a} \cdot \frac{c}{d} + \frac{d}{c} \cdot \frac{a}{b} + \frac{d}{c} \cdot \frac{c}{d} \\ &= \frac{bc}{ad} + \frac{ad}{bc} + 2 \end{aligned}$$

$\frac{bc}{ad} > 0$ ,  $\frac{ad}{bc} > 0$ であるから、相加平均と相乗平均の大小関係により

$$\frac{bc}{ad} + \frac{ad}{bc} \geq 2\sqrt{\frac{bc}{ad} \cdot \frac{ad}{bc}} = 2 \cdot 1 = 2$$

よって $\left(\frac{b}{a} + \frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b} + \frac{c}{d}\right) = \frac{bc}{ad} + \frac{ad}{bc} + 2 \geq 2 + 2 = 4$

等号が成り立つのは、 $\frac{bc}{ad} = \frac{ad}{bc}$ すなわち $(ad)^2 = (bc)^2$ のときであるが、 $ad > 0$ ,

$bc > 0$ から $ad = bc$ のとき。

$$\begin{aligned} \text{別解} \quad \left(\frac{b}{a} + \frac{d}{c}\right)\left(\frac{a}{b} + \frac{c}{d}\right) - 4 &= \frac{bc}{ad} + \frac{ad}{bc} - 2 \\ &= \frac{(bc)^2 + (ad)^2 - 2ad \cdot bc}{ad \cdot bc} \\ &= \frac{(ad - bc)^2}{abcd} \geq 0 \end{aligned}$$

よって、不等式は成り立つ。

等号が成り立つのは、 $ad = bc$ のとき。

26  $0 < a < b$ ,  $a+b=2$  のとき, 次の4つの式の大小を比較せよ。

$$a, \quad b, \quad ab, \quad \frac{a^2+b^2}{2}$$

解答  $a < ab < \frac{a^2+b^2}{2} < b$

解説

$$a+b=2 \text{ から } b=2-a$$

$$0 < a < b \text{ から } 0 < a < 2-a$$

$$\text{よって } 0 < a < 1 \quad \dots \text{①}$$

$$\text{また } ab=a(2-a)=-a^2+2a$$

$$\frac{a^2+b^2}{2}=\frac{a^2+(2-a)^2}{2}=a^2-2a+2$$

[1] ①から  $ab-a=(-a^2+2a)-a=-a^2+a=-a(a-1)>0$

[2] ①から  $\frac{a^2+b^2}{2}-ab=(a^2-2a+2)-(-a^2+2a)$   
 $=2a^2-4a+2=2(a^2-2a+1)$   
 $=2(a-1)^2>0$

[3] ①から  $b-\frac{a^2+b^2}{2}=(2-a)-(a^2-2a+2)$   
 $=-a^2+a=-a(a-1)>0$

したがって  $a < ab < \frac{a^2+b^2}{2} < b$

27  $|a|<1$ ,  $|b|<1$ ,  $|c|<1$  のとき, 次の不等式が成り立つことを証明せよ。

(1)  $ab+1>a+b$  (2)  $abc+2>a+b+c$

解答 (1) 略 (2) 略

解説

$$(1) (ab+1)-(a+b)=(b-1)a-(b-1)=(a-1)(b-1)$$

$$|a|<1, |b|<1 \text{ であるから } a-1<0, b-1<0$$

$$\text{よって } (a-1)(b-1)>0 \text{ すなわち } (ab+1)-(a+b)>0$$

$$\text{したがって } ab+1>a+b$$

(2)  $|a|<1$ ,  $|b|<1$  であるから  $|ab|<1$

$$|ab|<1, |c|<1 \text{ であるから, (1) を利用して}$$

$$(ab)c+1>ab+c$$

$$\text{よって } abc+2>ab+c+1$$

(1) から  $(ab+1)+c>(a+b)+c$

$$\text{ゆえに } abc+2>a+b+c$$

別解  $(abc+2)-(a+b+c)=(bc-1)a+2-b-c$

$$|b|<1, |c|<1 \text{ であるから } |bc|<1$$

$$\text{よって } bc-1<0$$

$$|a|<1 \text{ であるから } a<1$$

$$\text{ゆえに } (bc-1)a>(bc-1)\cdot 1$$

$$\text{よって } (bc-1)a+2-b-c>bc-1+2-b-c$$
  
 $= (b-1)(c-1)$

$$|b|<1, |c|<1 \text{ であるから } b-1<0, c-1<0$$

$$\text{ゆえに } (b-1)(c-1)>0$$

$$\text{したがって } abc+2>a+b+c$$

28  $a \geq 2$ ,  $b \geq 2$ ,  $c \geq 2$ ,  $d \geq 2$  のとき, 次の不等式が成り立つことを証明せよ。

(1)  $ab \geq a+b$  (2)  $abcd > a+b+c+d$

解答 (1) 略 (2) 略

解説

$$(1) ab-(a+b)=(a-1)(b-1)-1$$

$$a \geq 2, b \geq 2 \text{ であるから } a-1 \geq 1, b-1 \geq 1$$

$$\text{よって, } (a-1)(b-1) \geq 1 \text{ から } ab-(a+b) \geq 0$$

$$\text{ゆえに } ab \geq a+b$$

$$\text{等号は } a-1=1, b-1=1 \text{ つまり } a=b=2 \text{ のとき}$$

(2) (1) の不等式から  $ab \geq a+b, cd \geq c+d \dots \text{①}$

$$a+b \geq 4 > 0, c+d \geq 4 > 0 \text{ であるから, ①より}$$

$$abcd \geq (a+b)(c+d) \dots \text{②}$$

$$\text{更に, } a+b \geq 4 > 2, c+d \geq 4 > 2 \text{ であるから, (1) の不等式の } a \text{ を } a+b \text{ に, } b \text{ を } c+d \text{ におき換えた不等式は成り立つが, 等号が成り立つことはない。}$$

$$\text{よって } (a+b)(c+d) > (a+b)+(c+d) \dots \text{③}$$

$$\text{ゆえに, ②, ③から}$$

$$abcd > a+b+c+d$$

29 次の不等式を証明せよ。また, 等号が成り立つのはどのようなときか。

(1)  $x^4+y^4 \geq x^3y+xy^3$

(2)  $(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$

(3)  $(a^2+b^2+c^2)(x^2+y^2+z^2) \geq (ax+by+cz)^2$

解答 (1) 証明略 等号は  $x=y$  のとき成り立つ

(2) 証明略 等号は  $ay=bx$  のとき成り立つ

(3) 証明略 等号は  $ay=bx, bz=cy, cx=az$  のとき成り立つ

解説

(1)  $(x^4+y^4)-(x^3y+xy^3)=x^3(x-y)-y^3(x-y)$

$$=(x-y)(x^3-y^3)$$

$$=(x-y)^2(x^2+xy+y^2)$$

$$=(x-y)^2\left[\left(x+\frac{y}{2}\right)^2+\frac{3}{4}y^2\right] \geq 0$$

$$\text{よって } x^4+y^4 \geq x^3y+xy^3$$

$$\text{等号が成り立つのは, } x-y=0 \text{ または } x+\frac{y}{2}=y=0 \text{ のときである。}$$

$$x+\frac{y}{2}=y=0 \text{ から } x=y=0$$

$$\text{よって, 等号が成り立つのは, } x=y \text{ のときである。}$$

(2)  $(a^2+b^2)(x^2+y^2)-(ax+by)^2=(a^2x^2+a^2y^2+b^2x^2+b^2y^2)-(a^2x^2+2abxy+b^2y^2)$

$$=a^2y^2-2abxy+b^2x^2=(ay-bx)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } (a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2$$

$$\text{等号が成り立つのは, } ay-bx=0 \text{ すなわち } ay=bx \text{ のときである。}$$

(3)  $(a^2+b^2+c^2)(x^2+y^2+z^2)-(ax+by+cz)^2$

$$=a^2y^2+a^2z^2+b^2x^2+b^2z^2+c^2x^2+c^2y^2-2abxy-2bcyz-2cazx$$

$$=(a^2y^2-2abxy+b^2x^2)+(b^2z^2-2bcyz+c^2y^2)+(c^2x^2-2cazx+a^2z^2)$$

$$=(ay-bx)^2+(bz-cy)^2+(cx-az)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } (a^2+b^2+c^2)(x^2+y^2+z^2) \geq (ax+by+cz)^2$$

$$\text{等号が成り立つのは, }$$

$$ay-bx=0 \text{ かつ } bz-cy=0 \text{ かつ } cx-az=0,$$

$$\text{すなわち } ay=bx, bz=cy, cx=az \text{ のときである。}$$

別解 コーシー・シュワルツの不等式から

$$(a^2+b^2)(x^2+y^2) \geq (ax+by)^2 \dots \text{①}$$

等号が成り立つのは  $ay=bx$  のとき

文字をおき換えて

$$(b^2+c^2)(y^2+z^2) \geq (by+cz)^2 \dots \text{②}$$

等号が成り立つのは  $bz=cy$  のとき

$$(c^2+a^2)(z^2+x^2) \geq (cz+ax)^2 \dots \text{③}$$

等号が成り立つのは  $cx=az$  のとき

①, ②, ③の辺々を加えて

$$(a^2+b^2)(x^2+y^2)+(b^2+c^2)(y^2+z^2)+(c^2+a^2)(z^2+x^2)$$

$$\geq (ax+by)^2+(by+cz)^2+(cz+ax)^2 \dots \text{④}$$

ここで

$$(左辺) = (a^2+b^2)(x^2+y^2)+c^2(x^2+y^2)+(a^2+b^2+c^2)z^2+a^2x^2+b^2y^2+c^2z^2$$

$$= (a^2+b^2+c^2)(x^2+y^2+z^2)+a^2x^2+b^2y^2+c^2z^2$$

$$(右辺) = (a^2x^2+2abxy+b^2y^2)+(b^2y^2+2bcyz+c^2z^2)+(c^2z^2+2cazx+a^2x^2)$$

であるから, ④を整理すると

$$(a^2+b^2+c^2)(x^2+y^2+z^2) \geq a^2x^2+b^2y^2+c^2z^2+2abxy+2bcyz+2cazx$$

$$=(ax+by+cz)^2$$

よって, 左辺は成り立つ。

等号が成り立つのは ①, ②, ③のすべてで等号が成り立つ場合であるから,  
 $ay=bx, bz=cy, cx=az$  のときである。

30  $a > b > 0 > c > d$  のとき, 次の不等式が成り立つことを証明せよ。

(1)  $ad < bc$

(2)  $\frac{a}{b} > \frac{c}{d}$

解答 (1) 略 (2) 略

解説

(1)  $c > d$  の両辺に  $a(>0)$  を掛けて  $ac > ad \dots \text{①}$

$a > b$  の両边に  $c(<0)$  を掛けて  $ac < bc \dots \text{②}$

①, ②から  $ad < bc \dots \text{③}$

(2)  $b > 0, d < 0$  から  $bd < 0$

③の両边を  $bd(<0)$  で割って  $\frac{a}{b} > \frac{c}{d}$

別解  $a > b$  の両辺を  $b(>0)$  で割って  $\frac{a}{b} > 1 \dots \text{④}$

$c > d$  の両辺を  $d(<0)$  で割って  $\frac{c}{d} < 1 \dots \text{⑤}$

④, ⑤から  $\frac{a}{b} > \frac{c}{d}$

31 次のことを証明せよ。

(1)  $x > -3, y > 2$  のとき  $xy-6 > 2x-3y$

(2)  $a > b > c > d$  のとき  $ab+cd > ac+bd$

解答 (1) 略 (2) 略

解説

(1)  $(xy-6)-(2x-3y)=x(y-2)+3(y-2)=(x+3)(y-2)$

$x > -3, y > 2$  より,  $x+3 > 0, y-2 > 0$  であるから  $(x+3)(y-2) > 0$

$$\text{よって } xy-6 > 2x-3y$$

(2)  $(ab+cd)-(ac+bd)=a(b-c)-d(b-c)=(a-d)(b-c)$

$$a > b > c > d \text{ より, } a-d > 0, b-c > 0 \text{ であるから } (a-d)(b-c) > 0$$

$$\text{よって } ab+cd > ac+bd$$

32 次の不等式を証明せよ。また, 等号が成り立つのはどのようなときか。

(1)  $x^2+x+1 \geq 3x$

(2)  $x^2-2x+2 > 0$

$$(3) 2x^2 + 3y^2 \geq 4xy$$

$$(4) 9x^2 \geq y(6x - y)$$

- 解答 (1) 証明略, 等号成立は  $x=1$  のとき (2) 証明略  
(3) 証明略, 等号成立は  $x=y=0$  のとき  
(4) 証明略, 等号成立は  $3x=y$  のとき

解説

$$(1) (x^2 + x + 1) - 3x = (x-1)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } x^2 + x + 1 \geq 3x$$

$$\text{等号が成り立つのは } x-1=0$$

すなわち,  $x=1$  のときである。

$$(2) x^2 - 2x + 2 = (x-1)^2 + 1 > 0$$

$$\text{よって } x^2 - 2x + 2 > 0$$

$$(3) (2x^2 + 3y^2) - 4xy = 2(x-y)^2 + y^2 \geq 0$$

$$\text{よって } 2x^2 + 3y^2 \geq 4xy$$

$$\text{等号が成り立つのは } x-y=0 \text{かつ } y=0$$

すなわち,  $x=y=0$  のときである。

$$(4) 9x^2 - y(6x - y) = (3x - y)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } 9x^2 \geq y(6x - y)$$

$$\text{等号が成り立つのは } 3x - y = 0$$

すなわち,  $3x=y$  のときである。

33  $a > 0, b > 0$  のとき, 次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$(1) 2\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$$

$$(2) \sqrt{\frac{a+b}{2}} \geq \frac{\sqrt{a} + \sqrt{b}}{2}$$

- 解答 (1) 略 (2) 略 等号成立は  $a=b$  のとき

解説

$$(1) (2\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 - (\sqrt{4a+b})^2 = (4a + 4\sqrt{ab} + b) - (4a + b) = 4\sqrt{ab} > 0$$

$$\text{よって } (2\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 > (\sqrt{4a+b})^2$$

$$2\sqrt{a} + \sqrt{b} > 0, \sqrt{4a+b} > 0 \text{ であるから } 2\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$$

$$(2) \left(\sqrt{\frac{a+b}{2}}\right)^2 - \left(\frac{\sqrt{a} + \sqrt{b}}{2}\right)^2 = \frac{a+b}{2} - \frac{a+2\sqrt{ab}+b}{4}$$

$$= \frac{a-2\sqrt{ab}+b}{4} = \left(\frac{\sqrt{a}-\sqrt{b}}{2}\right)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } \left(\sqrt{\frac{a+b}{2}}\right)^2 \geq \left(\frac{\sqrt{a} + \sqrt{b}}{2}\right)^2$$

$$\sqrt{\frac{a+b}{2}} > 0, \frac{\sqrt{a} + \sqrt{b}}{2} > 0 \text{ であるから } \sqrt{\frac{a+b}{2}} \geq \frac{\sqrt{a} + \sqrt{b}}{2}$$

等号が成り立つのは  $\sqrt{a} - \sqrt{b} = 0$  のとき, すなわち  $a=b$  のときである。

34 次の不等式を証明せよ。

$$(1) \sqrt{7} + \sqrt{8} > \sqrt{5} + \sqrt{10}$$

$$(2) \sqrt{7} - \sqrt{6} > \sqrt{14} - \sqrt{13}$$

- 解答 (1) 略 (2) 略

解説

$$(1) (\sqrt{7} + \sqrt{8})^2 - (\sqrt{5} + \sqrt{10})^2 = (15 + 2\sqrt{56}) - (15 + 2\sqrt{50}) = 2(\sqrt{56} - \sqrt{50}) > 0$$

$$\text{よって } (\sqrt{7} + \sqrt{8})^2 > (\sqrt{5} + \sqrt{10})^2$$

$$\sqrt{7} + \sqrt{8} > 0, \sqrt{5} + \sqrt{10} > 0 \text{ であるから } \sqrt{7} + \sqrt{8} > \sqrt{5} + \sqrt{10}$$

$$(2) (\sqrt{7} + \sqrt{13})^2 - (\sqrt{6} + \sqrt{14})^2 = (20 + 2\sqrt{91}) - (20 + 2\sqrt{84}) = 2(\sqrt{91} - \sqrt{84}) > 0$$

$$\begin{aligned} \text{よって } & (\sqrt{7} + \sqrt{13})^2 > (\sqrt{6} + \sqrt{14})^2 \\ & \sqrt{7} + \sqrt{13} > 0, \sqrt{6} + \sqrt{14} > 0 \text{ であるから } \sqrt{7} + \sqrt{13} > \sqrt{6} + \sqrt{14} \\ & \text{ゆえに } \sqrt{7} - \sqrt{6} > \sqrt{14} - \sqrt{13} \end{aligned}$$

35  $0 < a < b$  のとき, 不等式  $a^2 < \frac{3a^2 + 2b^2}{5} < b^2$  が成り立つことを証明せよ。

解答 略

解説

$$0 < a < b \text{ であるから } a^2 < b^2$$

$$\text{ゆえに } \frac{3a^2 + 2b^2}{5} - a^2 = \frac{2}{5}(b^2 - a^2) > 0$$

$$\text{よって } \frac{3a^2 + 2b^2}{5} > a^2 \quad \dots \dots \text{ ①}$$

$$\text{また } b^2 - \frac{3a^2 + 2b^2}{5} = \frac{2}{5}(b^2 - a^2) > 0$$

$$\text{ゆえに } b^2 > \frac{3a^2 + 2b^2}{5} \quad \dots \dots \text{ ②}$$

$$\text{①, ② から } a^2 < \frac{3a^2 + 2b^2}{5} < b^2$$

36  $a > 0, b > 0$  のとき, 次の不等式が成り立つことを証明せよ。

$$(1) ab + \frac{1}{ab} \geq 2$$

$$(2) \left(1 + \frac{b}{a}\right)\left(1 + \frac{a}{b}\right) \geq 4$$

$$(3) \left(a + \frac{1}{b}\right)\left(b + \frac{9}{a}\right) \geq 16$$

- 解答 (1) 略 等号成立は  $ab=1$  のとき

- (2) 略 等号成立は  $a=b$  のとき (3) 略 等号成立は  $ab=3$  のとき

解説

$$(1) ab > 0, \frac{1}{ab} > 0 \text{ であるから, 相加平均と相乗平均の大小関係により}$$

$$ab + \frac{1}{ab} \geq 2\sqrt{ab \cdot \frac{1}{ab}} = 2$$

$$\text{よって } ab + \frac{1}{ab} \geq 2$$

$$\text{等号が成り立つのは } ab = \frac{1}{ab} \text{ のとき, すなわち, } a > 0, b > 0 \text{ から } ab = 1 \text{ のとき}$$

である。

$$(2) \left(1 + \frac{b}{a}\right)\left(1 + \frac{a}{b}\right) = 2 + \frac{b}{a} + \frac{a}{b}$$

$$\frac{b}{a} > 0, \frac{a}{b} > 0 \text{ であるから, 相加平均と相乗平均の大小関係により}$$

$$2 + \frac{b}{a} + \frac{a}{b} \geq 2 + 2\sqrt{\frac{b}{a} \cdot \frac{a}{b}} = 4$$

$$\text{よって } \left(1 + \frac{b}{a}\right)\left(1 + \frac{a}{b}\right) \geq 4$$

$$\text{等号が成り立つのは } \frac{b}{a} = \frac{a}{b} \text{ のとき, すなわち, } a > 0, b > 0 \text{ から } a=b \text{ のときで}$$

ある。

$$(3) \left(a + \frac{1}{b}\right)\left(b + \frac{9}{a}\right) = 10 + ab + \frac{9}{ab}$$

$$ab > 0, \frac{9}{ab} > 0 \text{ であるから, 相加平均と相乗平均の大小関係により}$$

$$10 + ab + \frac{9}{ab} \geq 10 + 2\sqrt{ab \cdot \frac{9}{ab}} = 16$$

$$\text{よって } \left(a + \frac{1}{b}\right)\left(b + \frac{9}{a}\right) \geq 16$$

等号が成り立つのには  $ab = \frac{9}{ab}$  のとき, すなわち,  $a > 0, b > 0$  から  $ab = 3$  のとき  
である。

37 次の不等式を証明せよ。

$$(1) (x^4 + y^4)(x^2 + y^2) \geq (x^3 + y^3)^2$$

$$(2) x^4 + y^4 \geq x^3y + xy^3$$

- 解答 (1) 略 等号成立は  $x=0$  または  $y=0$  または  $x=y$  のとき  
(2) 略 等号成立は  $x=y$  のとき

解説

$$(1) (x^4 + y^4)(x^2 + y^2) - (x^3 + y^3)^2 = x^6 + x^4y^2 + x^2y^4 + y^6 - (x^6 + 2x^3y^3 + y^6)$$
$$= x^2y^2(x^2 - 2xy + y^2) = x^2y^2(x-y)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } (x^4 + y^4)(x^2 + y^2) \geq (x^3 + y^3)^2$$

等号が成り立つのには,  $x^2 = 0$  または  $y^2 = 0$  または  $x = y = 0$   
つまり  $x = 0$  または  $y = 0$  または  $x = y$  のときである。

$$(2) (x^4 + y^4) - (x^3y + xy^3) = x^3(x-y) - y^3(x-y) = (x-y)(x^3 - y^3)$$
$$= (x-y)^2(x^2 + xy + y^2)$$

$$\text{ここで } (x-y)^2 \geq 0, x^2 + xy + y^2 = \left(x + \frac{y}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}y^2 \geq 0$$

$$\text{よって } (x-y)^2(x^2 + xy + y^2) \geq 0$$

$$\text{ゆえに } x^4 + y^4 \geq x^3y + xy^3$$

等号が成り立つのには  $x=y$  または  $x=y=0$  のとき, すなわち  $x=y$  のときである。

38 次の不等式を証明せよ。また, 等号が成り立つのはどのようなときか。

$$(1) x^2 + y^2 \geq 6(x-y-3)$$

$$(2) a^2 - ab + b^2 \geq a + b - 1$$

$$(3) x^2 + xy + y^2 + 3z(x+y+z) \geq 0$$

$$(4) \frac{a^2 + b^2 + c^2}{3} \geq \left(\frac{a+b+c}{3}\right)^2$$

- 解答 (1) 証明略, 等号成立は  $x=3$  かつ  $y=-3$  のとき

- (2) 証明略, 等号成立は  $a=b=1$  のとき

- (3) 証明略, 等号成立は  $x=y=-z$  のとき

- (4) 証明略, 等号成立は  $a=b=c$  のとき

解説

$$(1) x^2 + y^2 - 6(x-y-3) = (x^2 - 6x + 9) + (y^2 + 6y + 9) = (x-3)^2 + (y+3)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } x^2 + y^2 \geq 6(x-y-3)$$

等号が成り立つのには  $x-3=0$  かつ  $y+3=0$

すなわち,  $x=3$  かつ  $y=-3$  のときである。

$$(2) a^2 - ab + b^2 - (a+b-1) = a^2 - (b+1)a + b^2 - b + 1$$

$$= \left[a^2 - (b+1)a + \left(\frac{b+1}{2}\right)^2\right] - \left[\left(\frac{b+1}{2}\right)^2 + b^2 - b + 1\right]$$

$$= \left(a - \frac{b+1}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}(b-1)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } a^2 - ab + b^2 \geq a + b - 1$$

$$\text{等号が成り立つのには } a - \frac{b+1}{2} = 0 \text{ かつ } b-1=0$$

すなわち,  $a=b=1$  のときである。

$$(3) \text{ 左辺} = x^2 + (y+3z)x + y^2 + 3yz + 3z^2$$

$$= \left\{ x^2 + (y+3z)x + \left(\frac{y+3z}{2}\right)^2 \right\} - \left(\frac{y+3z}{2}\right)^2 + y^2 + 3yz + 3z^2$$

$$= \left(x + \frac{y+3z}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}(y+z)^2 \geq 0$$

よって  $x^2 + xy + y^2 + 3z(x+y+z) \geq 0$

等号が成り立つのは  $x + \frac{y+3z}{2} = 0$ かつ  $y+z=0$

すなわち,  $x=y=-z$  のときである。

$$(4) \quad \frac{a^2+b^2+c^2}{3} - \left(\frac{a+b+c}{3}\right)^2 = \frac{1}{9}(2a^2+2b^2+2c^2-2ab-2bc-2ca)$$

$$= \frac{1}{9}[(a-b)^2+(b-c)^2+(c-a)^2] \geq 0$$

よって  $\frac{a^2+b^2+c^2}{3} \geq \left(\frac{a+b+c}{3}\right)^2$

等号が成り立つのは  $a-b=0$ かつ  $b-c=0$ かつ  $c-a=0$

すなわち,  $a=b=c$  のときである。

$$\text{別解} \quad \frac{a^2+b^2+c^2}{3} - \left(\frac{a+b+c}{3}\right)^2 = \frac{2}{9}(a^2+b^2+c^2-ab-bc-ca)$$

$$= \frac{2}{9}\{a^2-(b+c)a+b^2-bc+c^2\}$$

$$= \frac{2}{9}\left[\left(a^2-(b+c)a+\left(\frac{b+c}{2}\right)^2\right)-\left(\frac{b+c}{2}\right)^2+b^2-bc+c^2\right]$$

$$= \frac{2}{9}\left(\left(a-\frac{b+c}{2}\right)^2+\frac{3b^2-6bc+3c^2}{4}\right)$$

$$= \frac{2}{9}\left(\left(a-\frac{b+c}{2}\right)^2+\frac{3}{4}(b-c)^2\right) \geq 0$$

等号が成り立つのは  $a=\frac{b+c}{2}$ かつ  $b=c$

すなわち,  $a=b=c$  のときである。

39  $a>0, b>0$  のとき,  $\sqrt{ab}$ ,  $\frac{2ab}{a+b}$  の大小関係を調べよ。

解答  $\sqrt{ab} \geq \frac{2ab}{a+b}$ , 等号成立は  $a=b$  のとき

解説

$$\sqrt{ab}>0, \frac{2ab}{a+b}>0 \quad \dots \dots \textcircled{1}$$

$$\text{また } (\sqrt{ab})^2 - \left(\frac{2ab}{a+b}\right)^2 = \frac{ab(a+b)^2 - 4a^2b^2}{(a+b)^2} = \frac{ab(a-b)^2}{(a+b)^2} \geq 0$$

$$\text{よって } (\sqrt{ab})^2 \geq \left(\frac{2ab}{a+b}\right)^2$$

$$\text{①から } \sqrt{ab} \geq \frac{2ab}{a+b}$$

等号が成り立つのは  $a=b$  のときである。

注意 この問題の場合, 自分で大小関係を調べるので, 等号が成り立つ条件も述べる必要がある。

40  $0 < a < b, a+b=2$  のとき,  $1, ab, a^2+b^2$ を小さい方から順に並べよ。

解答  $ab, 1, a^2+b^2$

解説

$$a+b=2 \text{ から } b=2-a \quad \dots \dots \textcircled{1}$$

①を  $a < b$  に代入すると  $a < 2-a$  すなわち  $a < 1$   
したがって  $0 < a < 1$

①から  $1-ab=1-a(2-a)=a^2-2a+1=(a-1)^2$

$0 < a < 1$ であるから  $(a-1)^2 > 0$

ゆえに  $ab < 1 \quad \dots \dots \textcircled{2}$

また, 同様にして, ①から

$$(a^2+b^2)-1=a^2+(2-a)^2-1=2a^2-4a+3=2(a-1)^2+1 > 0$$

したがって  $1 < a^2+b^2 \quad \dots \dots \textcircled{3}$

②, ③から  $ab < 1 < a^2+b^2$

よって, 小さい方から順に並べると  $ab, 1, a^2+b^2$

41 次の不等式を証明せよ。

$$14(x^2+y^2+z^2) \geq (3x-2y-z)^2$$

解答 略 等号成立は  $x:y:z=3:(-2):(-1)$  のとき

解説

$$14(x^2+y^2+z^2)-(3x-2y-z)^2=5x^2+10y^2+13z^2+12xy-4yz+6zx$$

$$=5x^2+6(2y+z)x+10y^2-4yz+13z^2$$

$$=5\left[x+\frac{3(2y+z)}{5}\right]^2+\frac{14}{5}(y-2z)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } 14(x^2+y^2+z^2) \geq (3x-2y-z)^2$$

$$\text{等号が成り立つのは } x+\frac{3(2y+z)}{5}=0 \text{ かつ } y-2z=0$$

$$y=2z \text{ を代入して } x+\frac{3(4z+z)}{5}=0 \text{ より } x=-3z \text{ のとき}$$

$$\text{ゆえに } x:y:z=(-3z):2z:z=3:(-2):(-1) \text{ のとき}$$